DIARIO No. 2525 S. Paulo 11 de JULHO de 1941 NOTICIA[illegible]SIL Redacção e Administração Rua Fagundes, 196 - Caixa, H

伯剌西爾時報

發行所 伯剌西爾時報社
聖市ファグンデス街一九六
電話七一四六七〇
購讀料 一ヶ年 六十圓 半ヶ年 三十圓

珈琲 サントス圓建 十キロ 三〇、〇〇〇 一ヨリ 二四、五〇〇
爲替 對日 圓 賣六〇 銀票送金 五、五〇〇
替算 米 一九、六九〇 英 七九、七二〇

獨ソ戰線暫し膠着狀態

ソ軍陣容漸く建直り

獨軍、敵防備の弱點探究

戰局數日中に大轉回か

獨ソ戰線○○方面で敵前渡河敢行中の獨軍

獨ソ戰の中心戰場は依然バルト海からウクライナの北部地區にかけての戰線で

ターリン線での戰鬪が長引くだらう事が豫想される、然し全線に亘り獨軍は赤軍を逐次壓迫する態勢に在り、獨軍は次の大攻勢に出る前に、各地でソ聯側防備線の最弱部を見極めんとしてゐるもの〻如くで、こゝ數日中には再び戰局に目星しい大轉回が行はれるのではないかと見られる

（紐育九日同盟）破竹の勢ひを以て進擊を續けてゐた獨軍がソ聯のスターリン線に達して以來、こゝ數日間殆んど目星しい進出振りを示さず戰線はこの處、膠着狀態に入つた形ちである

獨側の戰況發表は最近益々簡單となり、ソ聯側もこの一兩日戰鬪の地名發表を差控へる樣になつたので、正確な戰局の推移を知る事は至難となつたが、戰線は海からウクライナの北部地區にかけての大體北はエストニアのペイプス湖から、南はウストロフ、セベジュ、レベル、ポロツクに南に下つてノブオグロド、ポルインスク、オムツセンの各地で激戰が展開されてゐる、獨ソ戰に於ける獨軍は全く不意を衝かれた形ちだつたが、現在では既に充分その陣型の建直しを完了したものゝ如く今後更にス

對ソ援助物資英から既に發送

【倫敦九日發】（U.P電）本日當地へ着いたソ聯軍事調査團及びソ聯大使は相携へて英軍需品の一部はソ聯向け發送の外務、軍部當局と會見、英ソ共同作戰に就き協議したが

對ソ援助物資

【倫敦九日發】（U.P電）本日當地へ着いたソ聯軍事調査團及びソ聯大使は相携へて英軍需品の一部はソ聯向け發送の外務、軍部當局と會見、英ソ共同作戰に就き協議したが

英機ナポリ空襲

市民に四十四名死傷者

【羅馬十日發】（TO電）伊國軍部發表によれば、英空軍は昨日ナポリ市を襲撃した非戰鬪員たる市民に十四名の死者と三十名の負傷者を出したと發表した

英皇帝陛下禁煙さる

【ストックホルム十日發】（TO電）當地に達した確かな筋の報道によれば、英本土には紙巻や煙草が殆ど欠乏したので英皇帝ジョージ第二世は一週間の禁煙を實行せられ、英政府公表によれば、七月八日

英皇帝陛下禁煙さる

【ストックホルム十日發】（TO電）當地に達した確かな筋の報道によれば、英本土には紙巻や煙草が殆ど欠乏したので英皇帝ジョージ第二世は

英皇帝 キング ジョージ二世陛下

獨か二週間に三十七萬平方キロ占領

獨の對ソ大戰果

獨軍發表

【伯林十日發】（TO電）獨總軍ソ戰開始以來今日迄僅かに二週間であるがその間獨逸軍は獨ソ國境の一九三九年九月より佛領せるポーランド、バルチック三國のエストニヤ、ラトビヤ、リトアニヤ諸國及びルーマニヤ國より讓渡されたベツラビヤ南部よりウビヤの北部の外にウクライナ西部白ロシヤ全部の約三十七萬平方キロ即ち佛國全面積よりも大なる地域を征服したものであつて、如何に獨逸軍作戰が迅速なるかを證して餘りあるものだ

佛よりも大面積

臨時議會召集か

首相、藏相等と打合せ

【東京十日同盟】國際情勢の急轉回に對處し、國家總動員態勢を急速擴充強化する爲め臨時議會を召集すべしとの要望が高まりつゝあるに鑑み、近衛首相は十日午後首相官邸に河田藏相を招致し約一時間に亘り協議を遂げ、更に富田內閣書記官長、伊藤情報局總裁を招き種々懇談した

貿易前途見透し難

東亞共榮圈で先づ自給制確保か

九日 日本貿易聯盟で對策論義

【東京十日同盟】日本貿易聯盟では九日午後三時より丸ビル會館で貿易國策研究會を開催、一、獨ソ開戰に伴ふ貿易交通對策、二、獨ソ開戰に伴ふ我が貿易態勢の轉換策、三、世界戰時態勢に對する我が對內外貿易一般の再檢討の三件を中心に討議對策を行つた結果、第一第二に就ては現下の情勢下に於ては望み得ないとの見解多く、第三に就ては結局東亞共榮圈內の自給體保を中心に從來の貿易政策に檢討の加へ物資の交流を阻害する樞要なる論議が交された

この際打破すべきであると活

米、參戰の意思表明〝〟

赤色政治は眞平御免〝〟

靴のない裸足のソ聯兵捕虜は語る

【伯林九日同盟】獨ソ國境の東方ブルゼミスルノ北約三十粁のカルスモーに捕虜收容所が設置された、面積約五十ヘクタールの廣大な敷地に建てさせた百棟以上の收容所で、今三千六百名の赤軍捕虜が收容されてゐるが、その數は刻々增加してゐる、兵士は勿論將校にも靴のないものが多く裸足が三分位ゐる、そして將校も兵士も全部見分けがつかない、戰鬪道の模樣手だつたと語つた「一體靴はどうしたのか」と質問すると

ソ長官聲明

【華府九日發】（UP電）米陸軍長官は本日記者團との會見に於て、アイスランド島に上陸した米國陸戰隊は北大西洋ド航路の安全を計るために必要とあれば發砲すべしとの命令を受けてゐると聲明した、これは米の明白な參戰意圖表明と見られ、大統領と會見後、記者團に對し米軍根據地をアイルランド北部（英本土に隣接）へ至急設置すべき旨ル大統領へ進言した

アイルランド北部に米軍根據地設置せよ

ウィルキー氏・ル大統領へ進言

【華府九日發】（UP電）米前大統領候補者ウイルキー氏は、昨日ルーズベルト大統領と會見後、記者團に對し

獨軍オストロフ市占領

尚もレニングラード向け急進擊

【伯林九日發】（UP電）當地に纏めた戰況によれば、獨軍はバルチック艦隊のソ聯防備も未だ十分に渡されず、銃一ブルの如く高價だから迚も食つてはいけない、自分達は養つてから赤色政治當局を支持しないのだから、獨軍を助け赤軍撃滅に入場するだらう」と言ふと「獨軍」と心から勝ち誇る聲が周圍一帶を動かす、中にもギリシヤ正教屋に殘りに十字を切るものもある、赤軍である吾の二十四才前後の青年層の服した姿を見せつけられ、スターリン政權の十五年に亘る流血的工作がこんな風に醉ひられてゐるのかと異樣な感に打たれざるを得なかつた

英大使スターリンと會談

【モスクワ九日發】（DT電）駐ソ英大使クリップス氏は昨日スターリン書記長と會見、約一時間會談した

苦闘半歳芳澤代表歸京

【東京十日同盟】年後三時廿五分東京驛着の「富士」で三好鐵道參與官と共に歸京した、驛頭には松岡外相及び及川海相、秋田次官、本多駐華大使、パブスト駐日オランダ公使初め、仲節の勞を謝する鐵道關係者百數十名が詰めかけ萬歳を叫びせる裡に列車から降り立つた芳澤仲節は、幾分の疲れも見せず午後一時、鐵道の途に上

駐米英國大使ハリファックス氏歸國

閣僚の椅子に就かん

【倫敦十日發】（R電）當市ニュース・クロニクル紙特派員よりの通信によれば、駐米英國大使は現在最も重要なる位置であるが健康する處によれば、現駐米英大使ハリファックス氏は最近本國へ歸朝を命ぜられたが再び米國へ歸任せず、個裝も解かずに倉庫に入れてある噂と同じく淡々たる落着きぶりで、つと畏み出た松岡外相が早くも駅頭を潤ませてがつしりと兩手を握り締め〳〵「振」「ご苦勞でした〳〵」と苦勞を慰ひ早速歸國會談十分間餘り話し込んだ芳澤さんは、パブスト・オランダ公使を初め朋友知己と挨拶の後、歡呼を浴びて直ちに自動車で二重橋前に到り宮城を遙拜し、外務省に立寄つて歸國の報告をしたのち、麻布霞町の自宅に入つたが、待ち受けた令嬢、令息に取圍まれ留守中に生まれた愛孫を擁しながら久し振りで自宅の人となつた

駐米英國大使

ハリファックス氏歸國

閣僚の椅子に就かん

ず、英內閣々僚の一員となるものと見られてゐる、駐米大使の後任は未定であるがハリファックス氏は保守黨首領の地位にあり且つ英ソ兩國の國交調整を加へてゐる折柄、英內閣にかゝては國民の人望を是非必要としたものであると

上海

【上海十日同盟】爲替賣買引け、對英三ペンス六十四の十三、對米五ドル卅二の七、

爲替

二人草三郎

（百五十五）

小堀雄一 小川倩慶 繪

本坊（十一）

留日邸で、屈強の腕女が夜を徹しての看護から救ひ出して白藏と一緒に徑へ奪ち込んだ恒川甲三郎が、奇蹟的に福田屋龍藏の手で助け出された。

そして、光葉を探ね出して江戸へ連れ歸る爲に來てゐる源六と、出來ることなればさうはさせたくないであらう親の恒川甲三郎と、皮肉にも二人が同じ福田屋龍藏の庇護の下に、暫し、起居を俱にする事になつた。

「いや何うも〳〵、この山ン中で旦那にお目にかゝらうとは夢にも思ひませんでしたへゑ、かうなれば千人力、旦那の體が治り次第この近所の山といふ山を殘らず探して見てもお孃さんを探し出して一日も早く御一緒に江戸へ歸りませうよ、就いちやア何よりもかによりも、旦那の體だ、一日も早く良くなつて頂

源六の云ふやうに、自分の體が治つて、娘光乃を探し出した曉合の事が一番く腦にのしかゝる。それを思ふと、心が暗く沈んで藝湯を呑む氣もしなくなる——

（可哀相に、さうして赤あれは屋へ連れ戻されるか……而もこの父が、あれの好意を裏切つて松太郎殿に討たれる事に泣き濟れながら可哀相な娘よ……）

甲三郎が心中死を決してゐるのは江戸を發つ時からの覺悟だつた。娘光乃を探し出して、二人の前で、松太郎の父久保田傳之進を討果したのは、實は甲三郎ではなくてこの恒川甲三郎であると、はつきり事實を打ち開けて、潔く松太郎に討たれようと——それが、今度の旅の目的だつた。

それが、娘光乃を何んなに嘆き悲しませる事であるかは分かるくちやアートおウ、藥が沸え立つて來ましたゼーあゝ、こぼれる、こぼれる、あゝツ！ チツチツ、チツ……吹きこぼれようとする土瓶の蓋を取りのけた指先で、我れと、耳朶を引張り上げて大仰に飛び上ると、源六は相も變らず騒々しい。

「何かと其所許には厄介のかけて誠に相濟まぬ、申譯ない次第でござる」床の上に坐つて、兩手を膝の上に置いた甲三郎がさう云つた。

「いや、それアもう云はねえこつてす、武士は相見互でさア、はツハツは、それよりも一日も早く元氣になつておくんなせえよ、さ、お藥をお上りなすつて——」

湯呑みに注いで盆にのせて源六が差出す藥湯を、

「否ない」

と、甲三郎は押し戻さうとする源六の手を、ごくりと一口呑み下した。そして、

「苦い——」

と感じた。効き相だと思つた。

それがこの場合甲三郎にとつては、決して悦しい事ではないのだ。

りきつてゐるし——光乃があゝして廓を飛出して妻を喪して了つたのも、この悲劇を未然に防がうための手段であつた事も、胸の痛くなる程知つてはゐるが——その好意に甘えてゐる中に、若しもあの單三郎が親の敵を、松太郎に討たれるやうなことになつては……。と——

そこまで思つて、いつ迄斯うしてはゐられぬ甲三郎はごく〳〵と喉佛を鳴らして一氣に藥湯を呑み干した。

「旦那、噸吾えとつてせう、さ、こゝに口直しがありますぜ——あゝア、けふも赤暮れるか、ねえ旦那え、今日こそは佐吉さんや伊之松さんが、何かいゝ便りを持て來てくれ相な氣が致しやすが、如何なもんでござんせう」

「左樣——」

（あの二人がけふこそは娘達の在所を探し出して來てくれるやうに——そして、俺は一日も早く討たれねばならぬ）

甲三郎はむの中でさう呟き二人は那々の思ひで、同じ

——ソ聯軍落下傘部隊の着陸那利——

東亞の交通運輸を圓滑化

日滿華交通懇談會　運輸機關委員決定

【東京十日同盟】去月二十六二十七廿兩日に亘り東京に開かれた第二回日、滿、支交通懇談會の申合せに依り大東亞に於ける交通運輸の円滑化を計る爲め海、陸、空を一貫する總合的交通調査を行ふ事を目的とする日、滿、華交通懇談會第一調査會）を新設する事となり、過般來滿、華運輸機關より選出された準備員及び同懇談會幹事會に於て總々準備中であつたが、今回委員を左の通り決定、事務局機構を整備した上、この秋第一回會合を行ふ事になつた

備員査が究事項としては生産力擴充計畫の遂行に伴ふ船、石炭の輸送計畫の樹立に依り急する事となつてゐる

（運輸機關委員の顧）

日本郵船副社長　寺井久信
大阪商船副社長　神田外茂夫
日本海汽組常務取締役　松浦鶴吉
東亞海運副社長　内田繁
大連汽船專務取締役　川村龍夫
大日本航空總務理事　片岡直道
滿洲航空東京支店長　生方四郎
中華航空理事　新井三郎
鐵道省運輸局長　長崎惣之助

岡村最高指揮官

十日・神戶出帆

【神戶十日同盟】北支派遣高指揮官岡村寧次大將は十日神戶出帆の便船で赴任の途に就いた

國府交通部　航運の復興發展計畫

近く航業財產整理委員會設立

【南京九日同盟】國府交通部では各地に於ける航業財產を整理し、航運の復興發展を期する爲め航業財產整理委員會の組織を考究中であつたが、近く正式設立の運びとなる模樣で、同委員會就任委員は交通部政務次長朱撰氏、副主任には上海中華林業社長顧倫文氏が内定してゐる

南からの土産話

ぜひほしい日本の醫者

壽丸洋丸

【大阪發】東洋海運壽丸洋丸（五、五〇〇噸）が佛印トンベーから歸港したが、同船で歸還してきたマレー在住九ケ年の長崎縣出身吉田のいさん（五四）と在住八ケ月の新潟縣出身の池田とし子さん（二五）は語る

私達はマレー、ケランタン州のタマンガンといふ田舍にゐましたが、町には土民が、土人たちは自分の生れたとき植ゑられた樹によつてやつと年を知るといふ頭の程度で、兵隊になつても大したことはない、また酸暑を冒して働く同胞にはマラリヤその他熱病がはびこり、藥品は豐富に手廻りますが、醫師が碌らず怪しげな土人醫師に縋る結果それから日本が南へ進展して行くには醫師の養成が必要です

母をいたはる風景

街を歩いて僕は赤ん坊が難しいものに感じた、お母さんのトラを迎へに來た兵隊さんであらうか、重たい赤ん坊をグイと上げ、兵隊さんは笑つた「また、坊さん貰ひ込んで來たね、軍隊では何にも要らないつて何度も手紙に書いたのに——やつぱりお土産持つて來たんだね、重たかつたでせう」「なんのお前、重たいことがあるものかねエ」

生糸をもとめるブラジル市場（二）

品の値安から來る需要の增加ももちろん考へられるのであるが、日伯間の片貿易傾向を正に對して當國政府者及び實業者も大なる關心を有し、對日輸入增加の工夫には常に協力の用意あるは吾等の感知しつゝある所である

我が輸產生糸が低下關稅の恩惠國に入りたりとし、他の最惠國に對抗は無く、當國としては最も有利に支配なきものゝ、我外交、當國の急速なる一擧石を鞏んで止まぬ次第である

關稅引下げの程度を假りにキロ當り五ミルとして置きたい

ロ、千九百三十九年の伯國生糸總輸入は邦貨換算五百三十万円であるが、其中本邦よりするもの約六〇%、他は伊、佛物及日本物の米國を通ずるものである、日本生糸が何故米國人の手を經るかの理由は本邦に於ける生糸操作の彼に劣るが爲であつて決して必要の事ならず、吾に一段の工夫あれば我が邦直接に輸出し得るは言ふまでもない、左に米國よりする絹糸の量と額とを併記して見る

一九三八年	二一・六九三キロ	三・三六〇コントス
一九三九年	三一・四六六	三・六三一

以上は對北米輸入年額約七十万円を示すのであるが、それだけでも日本の對伯輸出增加となる事は可能である

八、ブラジルで婦人用絹靴下の需要はどれだけあるかについては統計の依る可きものはない、唯絹物及び人絹物が大きい比重を占めて居るのは事實である

東山銀行

名人と鍼術

南來隨一として知られたるマツサージ並に

マリリア市 新園 公會 パエスレーメ街三三一 舖表マツザジスト 磯谷本院

胃腸に エビオス

社告

謹啓　益々御隆昌之段奉賀候
陳者弊社外交員
中川忠吉儀
貴地御問の節は種々御配慮を頂き御懇を以て所期の成果を收め無事歸社仕候間乍他事御放慮被下度御報申上候
先は右御禮迄　敬具
七月十日
伯刺西爾時報社

新申込

（新聞新購讀）
日伯兩語で住所姓名を御明記下さること

轉居 郵函變更 發送方法變更

等を通知下さる時は必ず新舊共に住所姓名を御明記下さる樣以上御願まで
伯刺西爾時報社 發送部

急用あり居所知らせ

大分縣日田郡大山村
野村十郎樣
留守のお方の住所御存知の方は御一報を乞ふ。謝辭を呈す。
聖市郊外
セントラル線カルバリヨ・アラウジョ驛
セー・メ・アグア
梶原一雄

高級白レグホーン

サンタアメリア大養鷄場の種卵初生雛　種禽は本養鷄場より責任を以て直接分讓致します
Dr. M. TOMITA
MAYRINK
ソロカバナ線
サンパウロ

NOBIS

ブラジルで最優良のガジミーラはマルカ「ノービス」です
染色絶對保證、優美な新柄模樣、値段廉價
御出聖の際は是非當店に御立寄下さい
製造販賣元
ラニフイシイオ サンタ・ローザ
聖市ペンデヤミン・コンスタン
ナ街四八番　電話三—六三四一

求む

經驗有る寫眞師　一人
月給三百ミル以上
委細面談
プラサアーベ市
カイシヤ百八十五番
元渡邊寫眞館
跡
宮原寫眞館

譲る

住宅付掘出しもの（價格三拾コントス）
場所　ゾーナ・カンポシー目下盛業中のエンポリヨ　家事の　都合に依り至急譲り度し
尙御相談は
コンセレーロ・フルタード街九拾七番地
高畠商店　ニラ

KANAKAO S/A

肥料、農具
藥品、ニカワ
カナカオ化學工業株式會社
サンパウロ市クオドロ・サンパイオ街二七七六番
郵函　二一八六
電話　八・二五八七
支店　イタプラ・ヂ・ミランダ街一七
電話　二・六六三七

YAMASHITA LINE

山下汽船株式會社

往航　極東—紐育—南米—定期航路
復航　南米—ニューオルレアンス—羅府—極東
太平洋岸、フイリピン行荷物積送引受換
使用船優秀貨物船新造壹萬噸型

丸里山　往八月　九日頃　復八月三十日頃
丸月山　丸彦山
丸浦山　往八月　八日頃　復八月廿四日頃
丸霧山
丸風山　往七月十四日頃　復八月四日頃

サントス市　JOHNSON LINE AGENCIES
Praça da Republica 22 Telephone 4694 e 5107 Santos
聖市　L. FIGUEIREDO & CIA.
Rua Libero Badaró, 92 - Phone 2-7125 - S. Paulo

詳細は左記各社店にお問合せ下され度候
（貨物船に付き旅客運送は勝手乍ら御斷り申上候）

Akaki & Cia.

COMMISSOES-CONSIGNAÇOES E CONTA PROPRIA
Rua Santa Rosa, 473 — S. Paulo.
農產物賣買
委託販賣
赤木商會
電二・九〇八一
郵一八九七

Dierberger Agro-Comercial Ltda.
R. Libero Badaró, 497- 501
C. Postal, 458 - São Paulo

Dierberger Agricola Ltda.
FAZENDA CITRA
Caixa Postal, 48
LIMEIRA
Caixa Postal, 3123 - S. Paulo

優良果樹苗一切

柑橘類、アバカテイロ接木苗
優良マングイラ苗、葡萄苗等
ワング苗木あり
先づカタログを御請求あれ
聖市代理店　デ・ア・コメルシアル商社
カタログ贈呈

精選せる

野菜、花卉、植林用種子等
庭園用各種金屬器具、殺虫用器具藥品、養蜂器具一切
カタログ贈呈

職人募集　數名

安價　迅速
其他大工仕事一切
聖市コンデ街五七
電話　二—八三三四
赤星賢一

▼風呂桶

ブリキ細工
都會は繁店製に限る衛生に關係に又木製より强く大衆向きであります駒場フリキ店
コンデ・デ・サルガード六七

風呂及釜

九四
電話二—八三五三
兼田洗染店

各科診療　笹田醫院

マリリア市カンポスサーレス街二五七　電話　三一二三

Casa de Saúde
Dr. DANELUZZI
P. Prudente
外科手術を要する胃、肝臟、腸、盲腸炎、ヘルニア、痔
カーザ・デ・サウーデ病院
ブ・プルデンテ市
最高技術

讓

目下營業中のパール家事の都合に依り讓り度し。御希望の方は左記へ御問合せ下さい
ブ・プルデンテ伯刺西爾時報支社　郵函　一三七

日伯歯科醫院

Av. Rangel pestana, 12-B, 2 and. Salas 204, 205, 206, 207
Esquina de Largo da Sé
一般歯科
レントゲン科
アルムーア科
口腔外科
歯科醫學士
林博之
Dr. S. I. Pereira
大阪歯科醫學士
村上眞一郎
電話　二—三〇五六
自宅　電話　二—三〇九六

外科手術一般、婦人科、產科
小兒科、內科一般
肝臟、胃腸、盲腸、脫腸、
睾丸除、膀胱、腎臟、瘤腫
水腫、子宮、卵巢、喇叭管
開腹手術、痔、膀胱瘤の無手術治療
ドットル・エ・サンタ
ーナ・デ・アルメイダ
リンス市リオ・ブラン
ヂ街五六　電話六七
日本人看護人居り親切にお世話致します

母國出征軍人慰問團

趣意書

今回の日支事變は段々と擴大して今後何時まで繼續するか判りません。我が忠勇なる將士が嚴寒、酷暑瘴癘の地に轉戰蒼躬して居ることは誠に感謝感激の至りに堪へません。

是等の將士の勞を犒ふ爲には祖國は元より、世界各地の同胞により色々の會が出來會は事變の繼續する限り最初より終りまで、同一の熱度を以て慰問の實を擧げることが必要であると痛切に感ずるのであります。就ては此趣旨に於て出征軍人慰問團を設立して、五ケ年左記が戰の實行方法で實現したいと思ひます。在伯同胞各位奮つて御賛同、團員に御加入あらん事を希望致します。

規定

一、團員中は一口五ミルレースを每月醵金し同一人にて一口以上を醵出する事を得
一、團員乙は一口二ミルレースを每月醵金し同一人にて一口以上を醵出する事を得
一、總會は便宜上適めて御納する事を得
一、慰問團本部の費用は委員に於て負擔し獻金全額祖國に送金す
一、祖國市及各地に世話人を設けて勸誘及集金を行ふ
一、醵金は一定額に達したる時之を祖國傷兵部へ送金し、聖戰繼續中絕へず是が實現を期す

母國出征軍人慰問團委員　（順序不同）

昭和拾六年七月

古谷重綱　宮坂國人　宮腰千葉太　多羅間鐵輔　谷專一　後藤武夫　高岡專太郎　渡邊儀平　杉原桂造　石本芳之助

菅山鷲造　山本喜譽司　加藤好之　瀨盛永安　瀨作良　羽井五郎　尾熊喜作　中清黒石　山鷲造

兼會計（杉本芳之助）

母國出征軍人慰問團本部

Caixa Postal, 3123 - S. Paulo

農產物委託販賣は アルゼンチン海興へ

Rua Cantareira Nº546 Telephone 4-6544　Caixa postal 1602　São paulo

肥料各種

○混合完全肥料
▲玉葱用混合肥料　一俵　四五斤
▲アリヨ用　一俵　四五斤
▲野菜葉物用一俵　四五斤
▲西瓜、胡瓜用　一俵　四〇斤
▲棉用　一俵　二八斤
▲稻用　〃　三五斤
▲花壇用一俵　二五斤
▲芋用　一俵　四三斤
▲トマテ用〃　四五斤
○曹利爾石一俵四七斤
○硫酸加里　一俵　二百十斤
○マモナ搾粕　一俵　二〇斤
○骨粉　一俵　三〇斤
○屠殺場肥料　一俵　三三斤
○棉實搾粕　一俵　八斤
○加燐酸加里（米國製）〃　六五斤

時報商事部

內外野菜種子物

（發芽正確—品質優良）

大根類

時無大根　百瓦　五、〇〇〇
練馬大根　同　四、五〇〇
宮重大根　同　五、〇〇〇
聖護院大根　同　四、五〇〇
櫻島大根　同　五、〇〇〇
方領大根　同　四、五〇〇
早生白九日大根　同　五、〇〇〇
同　四、〇〇〇
方村みの早生大根　同　五、〇〇〇
尻丸宮重大根　同　四、五〇〇
美濃早生大根　同　五、〇〇〇
桃山大根　同　四、〇〇〇
赤丸廿日大根　同　七、〇〇〇

葉菜類

芝罘白菜　同　三、五〇〇
東京亀頭運白菜　同　四、五〇〇
朝鮮白菜　同　三、五〇〇
山東白菜　同　三、五〇〇
結球白菜　同　四、五〇〇
芥子菜　同　四、〇〇〇
シャクシ菜（體菜）　同　四、五〇〇
水菜（京菜）　同　四、〇〇〇
子松菜　同　三、五〇〇
鷹島菜　同　三、〇〇〇
眷菊　同　三、五〇〇
ほうれんそう　同　三、〇〇〇
不斷そう　同　三、〇〇〇
アセルカ・プランコ（不斷草と同形）　同　三、〇〇〇

根菜類

天王寺かぶら　同　三、五〇〇
時無小かぶら　同　三、五〇〇
聖護院小かぶら　同　三、五〇〇
ベテラバー　同　四、〇〇〇
ラバネテ長形　同　七、〇〇〇
人參赤中長　同　一七、〇〇〇
金時人參　同　一五、〇〇〇
瀧川ゴボウ　同　七、〇〇〇
砂川ゴボウ　同　七、〇〇〇
アスパラガス　同　五、〇〇〇
ナポ・プランセース　同　四、〇〇〇
ナポ・レヂンド（圓形蕪）　同　四、〇〇〇

時報商事部

御注意＝以上種子物　百瓦以下何程でも差上げます

外國人登錄

聖市中央警察

向ふ一ヶ年延期？

…聖市警察鑑識課から移植民審議會へ建案…

しこれとて移植民審議會が何等か適當な方法を授けない限り完全なものとは云へない

移植民審議會に建案のポイントとは左の様なものである

一、締切り期限を一ヶ年延期する

一、職業を以て登錄志願者に一ヶ年間効力を有する登錄證明書を交附する、但し右登錄證明書は一ヶ年間に第十九號證の鑑識手帳と交換しなければならない

其他、料金に就ての諸事項である

米艦二隻—燃料補給に寄港

去る八日北伯サン・サルヴアドール港に來巡洋艦メンフィス號並に驅逐艦ワシントン號が入港、燃料補給の後大洋へ出航した

千米自由型に南米新記錄

亞國ヅラドーナ選手

亞國の水上選手ヅラドーナ君は、この程千米自由型で八分二秒の南米新記錄を樹立した

寒氣に震ふ難民想ひ跡たゝぬ邦人の温情

ノロ線グワイサーラ驛アウローラ青年會では、會員共同作業の上得た金五十針を雨大河州水害救濟義捐金として本社リンス支社へ取扱方依頼あつた

◇——◇

また本紙購道の水害慘狀を見て同情した北パラナ國移植民地中央區青年會でも、一日會員が共同作業に從事し、利益金六十針を義捐金として本社に寄託した

ちやん賃金の代り短銃彈一發見舞はる

霧ふかき夜の街道での出來ごと

男は自分の行く處はジヤカレイ町だといひ出すので二十針を増して支拂ふからジヤカレイまで行つてくれといふ相談が出來ジヤカレイへ向つた處が、町には入る手前チエテ河のほとり（聖市から五十八キロの地點）まで來た時、客はそこで下車、賃金を支拂ふと見せて懐ろに隠し持つたピストルを發砲、二發をぬせたが、一發は運轉手の右腕に命中、助けを求めてゐる隙に件の男は何處へか姿を消してしまつた

運ちやんは左腕一本で車を操縱モチ市に向つたが、遂に過つて道に轉落したので

止むなく車を捨て徒歩でモヂ市へ來り、警察へこの由を訴へ出たので同署では直ちに捜査の手を擴げた

伯國で製作された最初の軍用機近く命名式行ふ

サルガード航空相は飛行機命名式のためワコレ號に搭乗したが、目下ランビナス附近の國航空相が關附するを待つて伯國に於いて製作された最初の軍用機フオコレ號の命名式を盛大に行ふ筈である

白菊會 造花習字講習

聖市女子青年會「白菊會」では來る日曜日（十三日）午後二時から各會員の會館において、造花及ペン習字の講習會を催す筈になつてゐるから會員は皆さんを誘ひ合せ揃つて御參加下さいと

邦人の同化狀態は？南聖の邦人植民地へ聖市文理大調査隊送る

聖市文理科大學社會政治科では、この程聖市リベイラ河流域の日本人植民地同化狀態研究のため調査隊を派遣した、エミリオ・ウイリアム教授を主班にエルベルト・バルヅス、ブブラ各地方を踏破し、社會人類學に關する資料を蒐集目下取纏め中である、この調査の結果は近く伯國、北米の專門雜誌に掲載される筈であるが、南聖の日本移民に關するものだけに各方面から大きな期待が寄せられてゐる

昨年同樣今年もまた伯國ラランジヤは戰爭のため足止めを喰つてしまつた、これら歐米行きの叶はぬラランジヤはそれでも市郷目指して續々出荷される筈め、聖市の鮓きはラランジヤの山…山…山である

この集荷解決に頭を惱つた州農務局では、稅金を免除して多數の行商人を聖市内に配ることゝし先週以來實行してゐるが、先週これに應募した行商人は四六五名、四十一台のカミニヨンと二百三十九台のカローサを出動して大變の活躍をしてゐるが、成績非常に良く全市平均五ヲ二百レースで朝に夕に街を行くラランジヤ賣の聲で賑はつてゐる

◇　◇　◇

黄色くなつた聖市民〃

……街は蜜柑賣の聲に賑ふ——農務局の捌き方成績良し——

愛國の發露

献金をめぐる插話！

從軍勇士と青年の美擧

リンス驛サンジヨアン植民地樞口長一氏は同地日會、カンペストレ部にサンジヨアンの三青年會を代表して本社リンス支社に金百拾弁を持參、リンス市カーザ・ベルナンブカーナに勤務の長谷川清一郎君名義で國防獻金として寄託したが右獻金につき美しいエピソードが含まれてゐる、長谷川君は晝は晝で本紙所報の通り先年歸國のうへ勇躍決死志願北支方面に出征數々の戰果を收めて無事凱旋の上、更に本年三月歸伯した勇士で前記四會では去月廿一日同君を招待、星巖の凱戰苦勞の實戰談を聽かせて貰ひ會談終つてから、同君の車代として右四團體から金一封を贈呈した、處が同君は「そんなものが頂けるものかと固く辭退、一封はそのまま會へ寄附されたので前記の如く會員が申合せて同君名義で獻金したものである

アルト・ダ・セーラが裸になる

好晴の日はサントスを一目に諒解できるアルト・ダ・セーラ……また名の如く霧で名高いあのアルト・ダ・セーラが裸になるとはなんだか惜しい樣な氣がするが、これは地主が自動車道路の兩側一千アルケールスを賣出したからである、裸を纏くために買手が殺到してゐるが、サントス、聖市を兩手に控へ地の利を得てゐる事とて致方もないが、今までの幽氣漂ふた風雅な眺めは全く本紙所報の通り先年歸國のうへ勇躍決死志願北支方面に出征數々の戰果を收めて無事凱旋の上、更に本年三月歸伯した勇士で前記四會では去月廿一日同君を招待、星巖の凱戰苦勞の實戰談を聽かせて貰ひ會談終つてから、同君の車代として右四團體から金一封を贈呈した、處が同君は「そんなものが頂けるものかと固く辭退、一封はそのまま會へ寄附されたので前記の如く會員が申合せて同君名義で獻金したものである

小峰領事は女の子？

日下滯聖中のクリチバ在小峰領事毎日賣物に忙がしい、あちらの官邸の裝飾品を物色して街に出てぶらりぶらり「コレハイソ」といつて色々なものを買込んでゐる、誰かが噂でコツソリ「小峰さんは女の子と同じで見るもの何でも欲しがるんぢやね、子供のとき番頭はさぞ泣かされただらうねエ」とこれは又とんだ心配性の人もあつたものだ

各地の若人地軸を蹴る

新興モチアナの意氣！好記錄續出し第四回大會終る

イツベラーバ再制覇

盛上つた新興の意氣高らかに全伯陸上に備る第四回汎モチアナ陸上競技大會は去る六日イツベラーバ競技場に於いて擧行された、觀衆無慮三千五百の盛況を呈し參加チームは前年度優勝者イツベラーバはじめグワラー、イガラバーバ、クラビンニヨス、ミゲロポリスの五軍、白熱戰を展開してのち地元イツベラーバ（坂元）再制覇して終つた、製の福岡兄、坂本、廣瀨兄、鈴木（廣瀨）五チーム參加

○秒三〇千六百繼走イツベラーバ（平、廣瀨兄、鈴木坂本、）四分〇五秒〇走巾坂元（イ）五米九五〇走高野見山（グ）一米六五〇二段坂元（イ）十二米二〇〇稱高倉内（ミ）二米八〇〇砲丸肥田（ミ）九米六九〇〇砲丸永井（グ）二六米三七〇槍投永井（グ）三九米五七

各チーム得點

イツベラーバ八九、グワラー八九、ミゲロポリス八〇イガラバーバ、クラビンニヨス、トラック優勝イツベラーバ、フイルド優勝グワラー

グワラサイ陸競アグワラミー優勝

アグワラミー青騎士主催第二回陸競大會は去月廿九日サンベードロ祭をトし同地蹴球場に於て開催された、參加大和、アグワラミー、グワラサイの三チーム、總戰績に鑑之上商會寄贈優勝旗はアグワラミー軍の獲得する處となつた

當日同地婦女會員は南大河州水害義捐金募集のため觀衆に造花を賣り相當の收益を擧げた、當日の主なる記錄は左の通りである

百井出（ア）十二秒〇二百井出廿七秒〇四百井出六〇秒〇八百島村（ア）二分卅一秒〇千五百島村四分五五秒〇五千大谷（ヤ）十八分四八秒〇一万米大谷三四分五五秒〇四百繼走アグワラミー五三秒〇千六百繼走アグワラミー（記錄不明）

○棒高津山（ア）二米九〇○走高德本（グ）一米五五○走巾井出（ア）五米七二○三段山本（ア）十一米二三〇○砲丸德本（グ）十米三五〇円盤德本二九米五〇

各チーム得點

アグワラミー四七、グワラサイ三五、大和二六

汎マツシャード陸競記錄五ツを更新

來る十三日の汎ノロ大會を控へ去る六月奥ノロの雄汎マツシャード陸競大會が催された、大會記錄五ツを更新その他數多好記錄を出し期待にそむかぬ盛大裡に第三支部が優勝した、記錄左の通り

百井田（三）十一秒四〇二百井田（三）二三秒八〇四百澁澤（三）五八秒〇八百仲條（四）二分十六秒二〇千五百仲條（四）四分四八秒〇五千仲條（四）十七分三四秒〇四百繼走第三支部（三）五米七二○三〇槍中川（グ）五一米一〇〇砲丸德本（グ）十米三五〇円盤德本二九米五〇

各チーム得點

第三支部四九十一秒四〇砲丸森本（中）九米九七〇円盤中島（五）二七米〇一〇管投鄕原（ハ）四一米四九〇走高中濱（五）一米五五〇三段打田（三）十二米二〇○走巾西澤（中）五米四九○棒高柄澤（中）三米〇五○砲丸永井（グ）三七〇槍投永井（グ）三七米五七

各チーム得點

第三支部得點—第五支部五二・五一—中央支部四〇—第二支部三一—第四支部三二—第一支部二七—第六支部八

百西村（ポ）十二秒六〇二百西村（ポ）二六秒八〇四百吉田（ポ）五八秒〇八百圓口（ア）二分二〇秒〇千五百山本兄（パ）四分四八秒〇五千伊藤（ア）十八分三七秒〇一万米山本弟（パ）四分三〇秒〇千七〇百十躍跳安永（ポ）二一秒一〇四百繼走ポンスセツソ五〇秒八〇千六百繼走ポンスセツソ四分〇五秒（大會新記錄）○走高中矢（ア）一米六四○砲丸森本弟（ア）十米〇六〇○番外玉置十二米八五○森本兄十一米五四○三段中矢（ア）十二米五四○槍投中川（コ）四四米〇六○走巾中矢（ア）五米五五○円盤森本兄（コ）三五米八五○棒高（ア）森川三米

各チーム得點

求む

聖市一流料理店にて女給さん大募集、事情により前借又は旅費もお貸し致します

聖市コンセレイロ・フルタード街二七三番地

新生社　職業紹介所　電話二—八二四九

ブラジル育ちの子供にはブラジル出來の立派な

子供の園

一冊三ミル、一年卅ミル

發行所　時報社

CINEMUNDI

日曜朝十時より面白くて爲になる子供の爲の早朝上映　再開

日本時事ニユース第一號外教育・運動・デゼンニヨ・ショート等十二卷上映

—今日—

正午より　連續上映

伯國シネアツキ社獨占配給

日本時事ニユース（第一號）

英本土爆撃ウフア映畫等々他にシネアツキ第十號

大人　1$000　小人

均一　1$500

「マア！お爺さん、そんなに沸山召上つて？——」

「養命酒をのみ初めてから胃腑の具合が扇面によくなつて食慾が進むようになつた！　アゝもう一ぱイ——」

ブラジル特約店

羽瀬商店

郵函二一A

社告

本社宛

Com Valor（現金封入）

Vale Postal（郵便爲替）

Cheque do Banco（銀行小切手）

爲替は銀行小切手、郵便爲替にて御送金の場合出來得る丈書留郵便にて願ひます、然らざれば紛失の場合本社は責任を持ちません

Notícias do Brasil

Rua Fagundes 196

Caixa Postal H

São Paulo

大人も子供も風邪引かぬようハリバを服みませう。

醫師はなぜ肝油をすゝめる

病氣をして無益の苦しみをするよりかゝらないで人生を愉快に樂しむ方が遙かに大切です。治療よりも豫防が現代人の生活目標であります。そうして病氣にならぬために醫者は誰の新しい人にいつも肝油の服用を奬めます。

數十年の昔から、すうつと今日まで、その處方を通じて流行り廢りなしに年々莫大量の肝油が人類の保健に貢獻して居ります。

たゞ量が多くて、服くて、卵み難いと言ふ缺點を如何ともなし得ませんでしたが、このたび非常に濃度の高い鮫魚肝油が發見され、同時にこれを脫臭化の方法が發明され、病人でも、小兒でも、愉快に長く服み續け得るに至りました。

醫學博士　鈴田利邦

CASA ALMEIDA E IRMÃOS

ALMEIDA E ALMEIDA　FUNDADA EM 1894

PRAÇA DA LIBERDADE, 42　PHONE 2-1185 - S. PAULO

季節の奉仕品

コベルトール

テシード デラン

其他

防寒着一切!!

驚く程安いお値段！

（リベ）伯國總代理店　酉谷商會

C. Postal, 2748 - S. Paulo

C. Postal, 1134 - Rio

御移轉の際は必ず前住所を御知らせ下さい

時報發送部

Redação — Rua Fagundes, 196
Telefone 7-4670
Caixa Postal, H

NOTICIAS DO BRASIL

Diretór MASAHIRO SAMESIMA

Assinatura Anu ..... 60$000
Semestre ... 30$000
Numero do dia ... 300 reis

ANO XXIV — S. PAULO SEXTA FEIRA 11 de JULHO de 1941 — DIARIO No. 2525

Exposição flutuante de maquinas modernas japonesas

O "Montevidéo Marú" aportou ontem a Santos, apresentando o certame patrocinado pela Associação Industrial e Federação dos Fabricantes de Maquinas do Japão

Notavel tem sido, nos ultimos anos, o progresso alçançado pelo Japão, no setor da industria pesada, produzindo, em larga escala, maquinas modernas para as mais diferentes aplicações.

Afim mostrar a alta qualidade das maquinas de fabricação japoneza e no intuito de oferecer uma oportunidade a quantos queiram certificar-se da sua perfeição, a Federação dos Fabricantes de Maquinas do Japão, entidade formada pelos principais produtores desse genero de Industria no Imperio do Sol Nascente, resolveu organizar uma exposição flutuante a bordo do navio «Montevidéo Marú», da frota da O. S. KS, com grande numero de maquinas, as mais modernas, e fotografias com textos ilustrativos das mesmas.

O confortavel «liner» da O. S. K aportará hoje a Santos, ocasião em que será franqueada aos interessados a mostra patrocinada pela Associação Industrial e pela Federação dos Fabricantes de Maquinas do Japão.

Desta capital partirá, às 10,30 horas de hoje, um trem especial, conduzindo visitantes à Exposição Flutnante de Maquinas Modernas Japonezas.

O «MONTEVIDÉO MARÚ» ESPERADO EM SANTOS

SANTOS, 9 (Da nossa sucursal) — Chegará amanhã e este porto o vapor japonês «Montevidéo Marú», da Osaka Syosen Kaysha, a cujo bordo seacha instalada uma exposição de maquinas japonesas, promovida pela Associação Industrial de Maquinas de Japão e da Osaka Syosen Kaisya e Camara de Comércio Japonesa de São Paulo. O certame apresenta 218 artigos diferentes como transformadores, tornos bombas, registradoras, motores, transmissores, oscilografos, ventiladores, telefones, magnetos, condensadores, etc., mostrando o progresso do Japão no terreno de mecânica e da produção industrial.

Das 13 às 17 horas, haverá, visitaa bordo do «Montevidéo Marú», para os representantes do comercio importador, autoridades e imprensa.

Recebida pelo sr. Interventor Federal uma comissão de industriais do algodão

Foram recebidos, ontem, em audiencia, pelo sr. dr. Fernando Costa, Interventor Federal, os membros da diretoria do Sindicato de Extração de Fibras Vegetais e de Descaroçamento ao Algodão do Estado de São PPaulo, srs. drs. Fernando de Almeida Prado, Celso Caibi' Novais e Abilio Pereira de Almeida, que foram expor a s. exc. alguns probremas com que lutam presentemente os industriais do algodão.

O sr. dr. Fernando Costa, que palestou longamente com as visitantes expoz-lhe as medidas que o governo do Estado já está tomando para a solução do assunto.

Está em São Paulo o dr. Souza Melo

Esteve ante-ontem em Palacio, em visita ao sr. dr. Fernando Costa, Interventor Federal, tendo conferenciado longamente com s. excia, o sr. dr. Souza Melo, diretor da Carteira Agrícola do Banco do Brasil, óra em visita a nossa capital.

A' tarde, o sr. dr. Fernando Costa retribuiu essa visita, por intermedio de seu ajudante de ordens, tenente Alfredo Guedes de Souza Figueira.

Ontem, ainda, o dr, Souza Melo esteve um visita à Sociedade Rural Brasileira, ocasião em que teve oportunidade de pronunciar importante palestra sobre a situação do algodão, focalizando, tambem, outras altas questões da economia agrícola brasileira.

O registro dos comerciantes de sedas

RIO, 8 — O regulamento aprovado pelo decreto n. 2.630, de 5 de maio de 1938, que disciplina, no Brasil, o emprego da palavra «seda» e seus compostos, vai ser finalmente executado em todo o país. O prazo para o registro dos negociantes de seda no Distrito Federal terminará depois de amanhã dia 10, incorrendo nasmultas de 1:000 $a 50:000$, os interessados que até essa data não estejam registrados no Departamento Nacional da Industria e Comercio, no 11.o andar do Ministerio do Trabalho

Um valor! Uma oportunidade!
Um excelente negocio!
Na Colonia Nipônica
"ANUNCIOS"
Sirva-se dos
do
"NOTICIAS DO BRASIL"
Rua Fagundes, 196 - Fone 7-4670
Caixa Postal, H. S. Paulo

Homenagem ao Ministro Sousa Costa

Banquete realizado na embaixada japonesa no Rio

RIO, 8 (Pelo telefone) — Realizou-se, esta noite, na embaixada do Japão, na praia do Botafogo, o banquete que em honra ao sr. Sousa Costa, Ministro da Fazenda, ofereceu o chefe da immissão diplomatica do Imperio do Sol Nascente

Convidados especialmente tomaram parte no banquete entre outras pessoas os srs. Romero Estelita, diretor geral da Fazenda Nacional; Ovidio Paulo de Menezes Gil, chefe do gabinete do Ministro; mministro Joaquim Eulalio diretor do Conselho Federal de Comercio Exterior e diretor da Comissão de Defesa da Economia Nacional; Euvaldo Lodi, presidente da Confederação Nacional das Industrias; consul Mario Moreira da Silva, chefe da Divisão Economica e Comercial do Ministerio das Relações Exteriores; Rodrigo Otavio Filho, presidente da Associação Comercial do Rio de Janeiro; Manuel Fernandes, diretor da Associação Comercial; Orlando Soares de Carvalho, diretor da Associação Comercial e presidente da Camara de Comercio Nipo-Brasileira, e Alcebiades Anton Gile.

ESTUDOS BRASILEIROS

Moços estudiosos e entusiastas pelas coisas do Brasil fundaram, em nossa tradicional Faculdade do Direito um «Departamento de Estudos Brasileiro cuja instalação se realizará hoje, tendo sido especialmente convidado a assisti-la o Interventor Adnemar de Barros. Um escritor brasileio, o sr. Afonso Arinos de Nelo Francso ilustre pelo nome, e pelas obras com que vem enriquecendo nossas letras — pronunciará a conferencia inaugural, sob o tema «A maioridade e a aurora do Segundo Reinado».

PPretendo o novo grêmio académico promover uma série de palestras a cargo dos grandes nomes do pensamento nacional — paulistas e filhos de outros Estados.

Eis uma iniciativa que merece os melhores aplausos. Seu duplo conteúdo — o cultural e o politico — é de extraordinário interesse. E, com efeito, útil sob todos os pontos de vista que nossos estudantes ampliem para o campo cultural, sua nação de solidariedade e de fraternidade academicas. Um Departamento, como o que acaab de ser fundado, bem pode realizar êsse objetivo. A noção de cultura é — e o mundo moderno o prova á sociedade — seria demais. Ela ultrapassa de muito o âmbito do didatismo individual, sobretudo quando êsse didatismo nada maiss significa que uma expressão, heróica embora, de idéias meramente livrescas, as mais das vêzess sem a marca inconfundível da objetividade. Aliás, o que o Departamento dos jovens academicos visa é ainda mais nobre. Trata-se ide condensar estimuloss para a pesquisa de temas vinculados aos grandes problemas nacionais, á causa da cultura brasileira. E quem alude á cultura brasileira fala de qualquer coisa cuja misteriosa e fecunda germinação e obra de anos não ainda remotos. Alguns setores dela — sobretudo o econômico — só agora começam a despertar a atenção séria dos publicissstas e dos técnicos brasileiros. Calcula-se, assim, fácilmente quanto o novo grêmio estudantino pode ser útil, se, como esperamos, seus componentes levvarem avante, com espírito de sacrificio o programa admiravel que se impuseram.

Sob o ponto de vista politico — e politico no nobre sentido da expressão — não menor será a utilidade da iniciativa dos alunos de nossa Faculdade. Vivemos, hoje, um época que se colocou sob o signo dominador da cultura politica. Realizando uma revolução ímpar em sua nistoria, com a radical transformação de suas instituições, o Brasil não pode fugir ao imperativo dos tempos. Precisamos aprofundar as bases da cultura politica sob cujas diretrizes o Brasil vive atualmente. E isso não pode ser conseguido no setor limitado da limitado da improvisação. O que se requer são estudos especializados — as mongrafias que nos fazem falta. Precisamos multiplicar os estudos brasileiros, fazer ver aos nossos moços que o pensamento original de um povo não se exprime através de adaptação de ideias mal assimiladas e, sobretudo, quase sempre feitas para outros povos e outros costumes.

A iniciativa dos jovens estudantes paulistas — por sua alta expressão de brasilidade e de reverência aos valores intimos da verdadeira cultura — merece o êxito das causas boas e generosas.

O governo do estado vai estudar a situação dos pescadores santistas

Acompanhado do sr. Otacilio Tomanik, diretor do Departamento de Assistencia ao Cooperativismo, da Secretaria da Agricultura, estiveram, ontem em Palacio, em visita ao sr. d r. Fernando Costa, Interventor Federal, os membros da Cooperativa dos Pescadores de Santos, srs. Jeronimo Piscitrito presidente; Fausto Pereira, superintendente; Pedro Lopes Sobrinho, secretario; Valdemar Campos e Eugenio Garcez, do Conselho Fiscal.

Os visitantes, que foram recebidos pelo sr. Interventor Federal, expuzeram a s. exc. os principais problemas que aqueja associação tem a resolver tendo o sr. dr. Fernando Costa prometido estudar com carinho, no momento oportuno, as medidas a serem tomadas em beneficio dos interesses dos pescadores.

O NOTICIARIO ESTRANGEIRO DO «NOTICIAS DO BRASIL» E' FORNECIDO PELA AGENCIA TELEGRAFICA «DOMEI» JAPONESA

Pesquisas sobre a colonização japonesa

A Escola Livre de Sociologia e Politica de São Paulo, acaba de enviar uma expedição científica ao Vale da Ribeira afim de inicial o estudo de probremas ligados à colonização japonesa pelo nosso Estado. Essa expedição chefiada pelo prof. Emilio Willems e com a assistencia do prof. Herbert Baldus, trabalhou nos distritos de Registo, Sete Barras e Gipuvura kolbendo material científico sobretudo para estudos sociologicos e etnograficos, material que já começou a ser elaborado.

LEIA O NOSSO
KODOMO NO SONO
Suplemento do jornal "Noticias do Brasil"

世紀の英雄（第二番目）

（百十六）

舗道と川端（十一）

伸二

三度目から治子もついて唱つた。

劉青年のバリトンと治子の可愛なソプラノが、縺れあつて、澄み切つた夜空の中に悲しい程美くしく響いて行つた。

唄ひ終ると、治子は、

「随分、とても嬉しいの、あたし、これをそのまゝと通り唄つて、それからあたしのブルースに直して唄つてみるは」

「それは大層楽しみです」

「一生懸命に唱ふわね。貴方のために」

と、言つて治子はほつとした。

その瞬間になつて、塚田叡太郎の影を急にはつきりと心に映した。こんな言葉を塚田以外の男性に言つてよいのであらうか。

——そして五日經過した。黒河ホテルの十週年記念日であつた。

「さうかしら」

「さうかしらぢやないわよ。塚田さんともめてもしらないわよ。なんしろ、あんたつてひとは、あたしが預かつて来てゐるのだから」

「大丈夫よ。姐さんたら、あたしをそんな其合にみてゐるの」

「あんたつて女のやりロをみてゐるとひや〳〵するわよ」

治子は答へないでステーヂに飛んで行く。

やがて、黒河ホテルの記念週間の催興が初まる。

ステーヂは間髪の、治子の獨唱、

「鍬のリズム」で、あつた。

高粱實る 個の果

磚頭に宿す 草の露

——

と、緩調は歌詞が教へてるるやうに力強く唱はれ、次に彼女が編曲したブルース風の「鍬のリズム」に変つた。

唱つた。

劉青年は川面に映つて二度

「唱ひますよ。でも、僕はみんなのやうに上手に唱へないかも知れぬ。

眠る鵬野は いま醒めぬ

——」

まるで子供でもあやすやうに治子は劉青年に言ふのであつた。

「何て美くしい空なんでせう。さあ、こゝで歌つて頂戴。誰も聞いてゐるものは無いでせう」

「あなたにそれさせないからも唱つて下さい」

「そんな事を言ふからなほてれる」

黒の闇には、夜の黒龍江が黒く悠々と流れてゐる。

月は無かつたが星が夢のやうに多く、それが一つ〳〵鮮かに浮き出て、川面に降るやうにみえた。

「随分、とても嬉しいの、あたし、これをそのまゝと通り唄つて、それからあたしのブルースに直して唄つてみるは」

「それは大層楽しみです」

「一生懸命に唱ふわね。貴方のために」

と、言つて治子はほつとした。

その瞬間になつて、塚田叡太郎の影を急にはつきりと心に映した。こんな言葉を塚田以外の男性に言つてよいのであらうか。

——そして五日經過した。黒河ホテルの十週年記念日であつた。

「さうかしら」

「さうかしらぢやないわよ。塚田さんともめてもしらないわよ。なんしろ、あんたつてひとは、あたしが預かつて来てゐるのだから」

「大丈夫よ。姐さんたら、あたしをそんな其合にみてゐるの」

「あんたつて女のやりロをみてゐるとひや〳〵するわよ」

治子は答へないでステーヂに飛んで行く。

やがて、黒河ホテルの記念週間の催興が初まる。

ステーヂは間髪の、治子の獨唱、

「鍬のリズム」で、あつた。

高粱實る 個の果

磚頭に宿す 草の露

——

と、緩調は歌詞が教へてるるやうに力強く唱はれ、次に彼女が編曲したブルース風の「鍬のリズム」に変つた。

ジャンパンに饌つた客よりも、もつと赤く紫土蓮は興奮して太鼓を叩いた。

ジヤズバンドはたつたバ人で、一人、ロシヤ人の紫土がバライカを奏るるが、それだけの人數で全く文字通り熱狂してゐた。

ステーヂの踊子連も黒河劇團のさむ〳〵とした舞台とくらべやもないほど楽しさうであつた。

「治子さん、今日、根つからの嬉さうな笑ひ方ね。そんなに嬉いの」

「だつて一生懸命、唱はなくちやならいもの」

「あゝら、一生懸命やつてるのはあたし達だつてよ。あんたは夢中だつていふの」

南大河州水害救濟義捐金寄附者芳名（第七回）

▲ビリグヰ市軍部アレグレ植民地 二十針宛 花巴茂樹、谷口市太助、松田季枝、松村末男

三針宛 杉本由一、吉野唯七

梅津忠雄、大橋光男、服部芳夫、波多野俊夫、梅津善夫、渡邊操、佐羽内治、金富嶋松、木村定夫、藤本幸一、織田堅、渡里良一郎、福浦啓次郎、松川香、和島舟次郎、眞島佐吉、塚原芳夫、大森大造、田中新吾、川上竹次郎

一針宛 竹乃宮

▲サンパウロ郊外エメボーイ日本人會扱 菊地清一、山寄藤吉

五針宛 高橋多治、山本愛助

織田末太郎、篠原榮、寺西義雄、波多野貞藏、菅井八十次、中島貞夫、吉原才二

菊地清三、幕田憲治、富田德松、前場正男、今村賢治

小野嘉一、谷口幸一

三針宛 清家德一、米山伊勢吉、伊藤儀三郎、佐野佛三

米森一郎、香川品八、坂上眞次郎

二針宛 香川明、道地儀男、

津守一雄、木村利八、熊坂藤三郎、小野二郎、田中三郎

▲サンパウロ日本病院、百針宛 武田義信、八木勝郎

福川産組

五十針宛 村井喜代已、細江郁男、北島弘毅

三十針 山根英二

二十針 野見山秀雄

十五針宛 齋藤俊太郎、白鳥文平、栗山茂、江刺家勝

十針宛 岩間宏、高崎輔、岩本金太郎、藤村知子、奥原文雄、菅井將夫、上條隆子

機部グマエ、山田正忠、曲尾磐子、機本貞枝

七針宛 重藤仁助

五針宛 「José Co.llo, Geralda Astorina, Godofredo Unfim, 無名氏、中西妙子

石川武廣、板橋秀二、中谷ミツ、藤眞光子

▲サンパウロ郊外スザノ福博植民地

二針宛 山根英二

▲サンパウロ郊外サン・ミゲール 田中榮二郎他一同

四十一針 田中榮二郎他一同

▲サントアマーロ百針 入植記念角力大會

▲サンパウロ十八針 園原學

▲サントアマーロ百針 山崎郷助

十針宛 下田政則、鈴木武夫

山中一馬、西脇一雄、重本繁夫、武田一雄、藤本實

▲バラナ州セーラ・グランヂ植民地

二百三十針 日本人會

▲パウリスタ線パレオトス驛フロレスタ日本人會扱

五十針宛 高濱為八、秋山初次

三十針 小林實

▲ビリグヰ市軍部アレグレ植民地 二十針宛 花巴茂樹、谷口市太助、松田季枝、松村末男

三針宛 杉本由一、吉野唯七

梅津忠雄、大橋光男、服部芳夫、波多野俊夫、梅津善夫、渡邊操、佐羽内治、金富嶋松、木村定夫、藤本幸一、織田堅、渡里良一郎、福浦啓次郎、松川香、和島舟次郎、眞島佐吉、塚原芳夫、大森大造、田中新吾、川上竹次郎

一針宛 竹乃宮

▲サンパウロ郊外エメボーイ日本人會扱 菊地清一、山寄藤吉

五針宛 高橋多治、山本愛助

織田末太郎、篠原榮、寺西義雄、波多野貞藏、菅井八十次、中島貞夫、吉原才二

菊地清三、幕田憲治、富田德松、前場正男、今村賢治

小野嘉一、谷口幸一

三針宛 清家德一、米山伊勢吉、伊藤儀三郎、佐野佛三

米森一郎、香川品八、坂上眞次郎

二針宛 香川明、道地儀男、

津守一雄、木村利八、熊坂藤三郎、小野二郎、田中三郎

▲サンパウロ日本病院、百針宛 武田義信、八木勝郎

福川産組

五十針宛 村井喜代已、細江郁男、北島弘毅

三十針 山根英二

二十針 野見山秀雄

十五針宛 齋藤俊太郎、白鳥文平、栗山茂、江刺家勝

十針宛 岩間宏、高崎輔、岩本金太郎、藤村知子、奥原文雄、菅井將夫、上條隆子

機部グマエ、山田正忠、曲尾磐子、機本貞枝

七針宛 重藤仁助

五針宛 「José Co.llo, Geralda Astorina, Godofredo Unfim, 無名氏、中西妙子

石川武廣、板橋秀二、中谷ミツ、藤眞光子

▲サンパウロ郊外スザノ福博植民地

二針宛 山根英二

▲サンパウロ郊外サン・ミゲール 田中榮二郎他一同

四十一針 田中榮二郎他一同

▲サントアマーロ百針 入植記念角力大會

▲サンパウロ十八針 園原學

▲サントアマーロ百針 山崎郷助

十針宛 下田政則、鈴木武夫

山中一馬、西脇一雄、重本繁夫、武田一雄、藤本實

▲バラナ州セーラ・グランヂ植民地

二百三十針 日本人會

▲パウリスタ線パレオトス驛フロレスタ日本人會扱

五十針宛 高濱為八、秋山初次

三十針 小林實

藏、西巻鶴愛

三針宛 杉谷直松、日本語學校、飛田三四五郎、宮武旭、伴木盛登、森山双橋

▲ソロカバナ線パラグアスー驛 組馬聯合日本人會

百針 左傷門、長谷川壯松、渡邊喜一、赤間重平、山田方次郎、服部新吉、宮原一郎、村山重俊、藤田義雄、藤田太治、木内廣龍、今村傳次郎

三針宛 宮原常二、山口齊衛

佐伯伊代吉、安木矢吉、千葉宇一、岸喜三郎、湯戸富士太郎、峰吉清藏

二針宛 渡邊清吉、石塚金藏

Tenente do Iva

▲ノロエステ線リンス驛上塚第二植民地汎ゴヤンベー聯合發會扱

百九十七針五百レイス アリアンサ青年團

百八十三針 ウエオン青年團

百三十六針 白馬青年團

二百五十八針 ポンダーデ青年團

百六針 パナイ青年團

二十針 同志青年團

二十針 同志青年團

▲パウリスタ線ドアルチーナ驛 四十針 協農團日本人會

五十針 協農團青年團

▲ドラデンセ線ポルポレーマ町 加藤清作

▲パウリスタ線マリリア驛リベロン・ド・インヂオ

百四十三針 赤津青年會

▲ノロエステ線プロミツソン町

三百四十針 女子青年團

▲パウリスタ線リオクラーロ日本人會扱

二十針宛 宮本龍次郎、山下隆義

十針宛 伊藤清一郎、大西芳信、阿部源、佐藤親之助

五針宛 藍物市郎、藤井怡策

比嘉壮吉、溝口禎三

二針宛 尾下寅吉、矢吹勝、矢吹末一郎

一針宛 長嶺榮光、大城永吉

新里明義

▲サンパウロ百五十五針 サンタアーナ日本人會

馬鹿芳藏、山本金治、加我久次、山崎茂、米澤朝吉、

合計 伯貨七コントス四百九拾九針五百レイス

累計 伯貨七拾五コントス六百貳拾壹針五百レイス

發企者 ブラジル朝日新聞社
聖州新報社
南米新報社
伯刺西爾時報社
在伯大日本帝國大使館
在伯各帝國領事館
後援

厚紙製
移植鉢
野菜の幼苗、造林苗の移植に最好のもの
一千個 百ミル
時報商事部